

· 豫定事業費 體系 問題點 改善方案

本章 事業費 附加 策定方法 問
 題點 分析 改善方案 提示 事業費
 規制緩和 價格競爭力 確保 個別商品 契約者 保險期間
 別 事業費 策定 合理化 各種 契約間 衡平性 圖謀 , 維持
 率 提高 가 消費者
 權益 , 豫定事業費 適正化 財務健全性

1. 價格競爭力 確保

가. 現況

生命保險 事業者가 豫定事業費 「生命保險商品
 管理規程」 豫定事業費率 ,
 限度가 實際事業費
 豫定事業費 體系 內部基準

規制現況 < -1> , 가
 自律的
 申告商品
 가

特約

40

全期月納

< -1> 豫定事業費 限度

		-	50%
		5	10%
	6	10	20%
	11	20	30%
	21		40%
		-	50%
		5	5%
	6	10	10%
	11	20	15%
	21		20%

個人保險 保險種類別 豫定新契約費 基準

○ : 가 30/1,000

○

· 5 : 5/1,000 × S1 + 10/1,000 × S2

· 5 : 가 15/1,000 + 5/1,000 × S1 + 10/1,000 × S2

, S1 : , S2 :

○

. 5 : 가 20/1,000

. 5 : 가 35/1,000

團體保險 90%
, 保障性 特約 10%

. 問題點

事業費 策定 支出 商品開發 保險料
算定 原則 , 附加
政策方向 一致 가
, 規制 實際 經費가 豫定
事業費 充分 事業費 가

上限 適用 傾向 .
가
30/1,000 가 1,000 가
, 所得水準 向上 必要 年金額 増大
가 가 3,000 5,000 1
. 가
1,000 3 5 1

, 分割
 保險約款 證券發行 附加經費가
 가 割引
 가 가 豫定事業費
 總事業費 確保側面 事業費 規制 實益
 最高 限度가
 가
 事業費 計定 費差損益 相互補填 禁止 代替가 가
 解約還給金 保障
 , 自由化 가 體感 最終 還給
 率

· 改善方案

市場原理 가 가 自律的 事業費
 自由화가 生命保險 價格自由化 計劃上 豫定事業費 自由化
 ‘98 ,
 移延事業費 償却 ’99 4 範圍料率
 , 豫定事業費率
 2000 4 轉換
 9)

9) , 「1998」, 『 , 『 ,
 , 1997.12.10

事業費自由化 肯定的 側面 價格競爭
 가 , 事業費 附加
 가 經營効率化 .
 否定的 側面 初期事業費 過多 支出 損失
 轉嫁 事業費 策定 ,
 가 事業費 費差損
 增大 財務健全性 沮害 .
 注力商品 特定商品 戰略的
 事業費 策定 事業費 不均衡 招來
 .
 解約 不利益 探索費用 轉換費用(switching cost)
 가 事業費가
 保障內容 가 가
 衡平性
 自動車保險 1 短期商品
 更新型 商品 滿期 契約 更新時 가
 .
 豫定事業費 自由化 保險産業 健全 發展 ,
 . 費差益
 費差配當 還元 豫定事業費 科
 學的 經營合理化 , 費差損
 經營効率化 政策 節減 善意

4 가

費差配當自由化

가

(料率政策, 配當政策)

事業費 規制

現行 事業費 體系

解約還給金制度 改善

總額事業費 限度

間接的 規

制¹⁰⁾ 異常現狀

政府監督

가

販賣市場, 販賣方法

販賣對象

事業費率

商

品名

2. 契約間 衡平性

가. 現況

商品類型別, 保險期間別 豫定事業費 限度, 新契約費 限度

性別, 年齡別

契

約者間 事業費率

衡平性

가

10)

一律的

40

「

」

가 絶對額

가

가 保障性保險

가가

貯蓄性保險

高年齡

< -2>

가

< -2> 商品別 事業費率 例示

		15	50	15	50
		74.4%	24.4%	90.9%	43.5%
		30.4%	17.1%	32.8%	26.2%
		13.5%	12.8%	13.4%	13.2%
		58.5%	12.2%	62.5%	11.8%

:

, 60

10

,

60

問題點

1) 契約者別 事業費率 策定 不調和

事業費 規制體系

事業費 附加現況

가

,

가

,

가

80% 價格策定上
 . 實務
 . , 가
 新契約 締結 維持管理 費用
 . 証券發行費, 案内狀 約款作成 經費 가
 規模 가 .

2) 保險期間別 事業費率 策定 不調和

, 合理的 中途解約
 가 , 豫定事業費 數理的 衡平
 性 加入形態 가
 . 가 가

5 定期保險 更新 2 가 10
 1 가 가 10
 가 5 5 가
 가 .
 가 .

. 改善方案

1) 契約者別 事業費率 差異 緩和

不特定多數 가

特別利益
 算出原理 保險料 差別化 收支相等原則 保險金 提供 保險料
 公平性 原理 一律的 相對的 不公平 公平的
 豫定事業費率
 商品 類型 豫定事業費率 支出形態 分析 保險商品
 性格 事業費 水準 商品開發基準 基準年齡
 學的 事業費 附加體系 原則論的 事業費 支出 科
 社會慣習 調和 契約者 立場 適正 還給率 保障
 衡平性 給付設定 缺陷 價格策定 誤謬

費 機能別 特性
 合理的
 (가)
 分給
 가 ,
 ,

改善方案
 基本 原價 純保險料
 가 ,
 ,

事業
 가
 ,

保險金 比例經費
 件當經費
 ,

, 保險料
 比例經費
 .

性別, 年齡別 豫定事業費率 不公平 附加問題 豫定事業費
 附加體系
 .

豫定事業費 附加體系 保險料 가
 가 가 , 加入
 對象 細分化

件當 比例經費
 保險料 比例經費 , 解約損
 底邊擴大
 가 가

$$\frac{\alpha_1}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} \quad \frac{\alpha_2}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}} \quad , \quad n1 < n2 \quad , \quad \alpha_1 < \alpha_2$$

		保險期間別		差等附課	(
				5	2
		1	가		가
10			가		
20	5		가	5	25
		34		20	10
		2			가
36					
				保險料	新契約費
部分	同一			保險料	反映
新契約費		가	公平	가가	

$$\frac{\alpha_1}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} \quad \frac{\alpha_2}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}} \quad , \quad n1 < n2 \quad , \quad \alpha_1 < \alpha_2$$

10 8.5/1,000 5 5/1,000,

長期契約 1回 加入 短期契約 加入
 有利

附課 發生 短期契約
 契約
 豫定事業費 同一
 豫定新契約費 絶對 長期

$$\frac{\alpha}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} = \frac{\alpha}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}}, \quad n1 < n2$$

5 (n1), 10 (n2) 가

7/1,000()

< -4>

< -4> 保險料 新契約費 例示(豫定新契約費 同一)

(: 가 10 , ,)

		20	21	25	26	30	31	35	36	40	41
5	P'	37	38	40	40	40	40	48	50	65	70
	ALP	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
10	P'	32	33	34	34	37	39	49	52	-	-
	ALP	8	8	8	8	8	8	8	8		

: P' : , ALP :

< -4> 10 가 5 失效

解約 5 가

. , 20 5

5 37 10
 가 32 5

解決方案

3. 消費者 權益保護

가. 現況

相互 利益關係 逆(trade-off) 關係
 事業費率 가 가 經濟的 效
 用
 가 實際 豫定事
 業費率
 豫定事業費率 死亡脫退
 가 가 15 30%
 , 中途解約者 事業費가
 가 契約初期
 90% 가 實際
 事業費率 豫定事業費率
 個人年金保險 中長期商品
 解約還給率 民怨 提起 解約還給金 既納入保險
 料 經費 同一 保險團體 保
 險事故

가

가 支出

· 問題點

< -5>

實際事業費率

· 實際事業費率

保障性保險

貯蓄保險料가

危險保險料

가 事

業費

準備金 積立

部分

事

業費

가

0

貯蓄性

保險料 規模가

事業費 規模가

3

가

5

事業費 累計額 50

11)

絶對額

< -5>

實際事業費率

事業

費

가

實際事業

費率

特殊商品

豫定事業費率

11)

5

547,200

가

579,000

1,000

< -5> 中途解止 經過期間別 負擔事業費率

- 生死混合保險

(: 가 10 , 35 , 20)

	1	2	3	4	5	7
	3,147	6,294	9,441	12,588	15,735	22,029
	2,753	3,989	4,483	4,978	5,472	6,461
	87.5%	63.4%	47.5%	39.5%	34.8%	29.3%
	2,372	4,744	7,116	9,488	11,860	16,604
	1,978	2,439	2,158	1,878	1,597	1,036

: 1. 3,147 775
24.6% .
2.

, 1
가 1,978 .
3. 394 .
4. ,

- 老後福祉年金保險

(: 10 , 35)

	1	2	3	4	5
	1,200,000	2,400,000	3,600,000	4,800,000	6,000,000
	260,072	320,144	380,216	440,288	500,360
	21.7%	13.3%	10.6%	9.2%	8.3%
	1,091,928	2,183,856	3,275,784	4,367,712	5,459,640
	152,000	104,000	56,000	8,000	0

1. 1,200,000 108,072
9.0% .
2.

3. 11,928 .

4. 5 9.0%가 4%
 5 240,000 ,
 200,000 .

- 満期還給形保障性保険

(: 가 10 , 35 , 20)

	1	2	3	4	5	7
	1,951	3,902	5,853	7,804	9,755	13,657
	1,557	3,114	4,671	5,332	5,790	6,706
	79.8%	79.8%	79.8%	68.3%	59.4%	49.1%
	1,166	2,332	3,498	4,664	5,830	8,162
	1,166	2,332	3,498	2,192	1,865	1,210

1. 1,951 785
 40.2% .

2. , 1,2,3

3. 가 394 .

負擔事業費率

1 事業費率 満期還給形 保障性保険

가 轉入

가 事業費 所要額

早期(3)

事業費 財源

個別商品 , 月末報告書上 豫定事業費 率
 構成比率 ,
 豫定事業費率
 , 特殊
 商品 豫定事業
 費率
 實際事業費
 가 比例費用()
 가 知名度
 擔保力 成敗 價格競爭力 積極的
 販賣勸誘 가 가
 契約締結 能力

· 改善方案

1) 維持率 提高

< -6 >

維持率 , 緣故契約 ,
 認知度 不足

管理疏忽 , 事業費 附加體系

募集手當 支給體系

< -6> 主要國 失效解約率

(: %)

FY'92	25.9	6.0	8.3
FY'93	25.1	6.1	7.6
FY'94	24.0	6.2	7.1
FY'95	23.7	6.4	7.2

保險契約 維持 契約者 意志가
 完全販賣
 가 確認 契約內容 認知與否 不健全

募集人 勸誘¹²⁾

持續的 管理가

“生活設計士(life planner)”

任務가

顧客滿足 誘導 顧客 感動

管理가

分給期間 2 3

12) 『'95 가 (刊)
 40.6%가 가

保險會社, 募集人, 保險契約者 3 가

. 契約者 가

, 募集人

保險會社

가

弘報

手當支給 改善

責任 契約者, 保險會社, 募集人 3 가 共同負擔 方案

. 共同負擔 方案

募集手當 分給期間 延長

가 , 商品開發時 豫定事業費 가가

契約者 未償却新契約費 償却 解約控除

適正收益率

早期解約

還收 責

任轉嫁 責任 附與

固定性 經費 比例

性 經費

13)

13)

營業 擴大 縮小

가

20%

FY'96

26.5%

損失

全額 償却

76%

.14)

24%

保險會社가 負擔

解約控除時

承認事項

消費者保護團體

2) 事業費 水準 運營 合理化

競爭力 가 適正

水準 事業費 附加

金融改革作業 綜合金融化

進展, 金利自由化 完了

金融商品 價格自由化 金融兼業

14)

8/ 1,000,

17/ 1,000,

2%

8/ 1,000

6/ 1,000 ,

17/ 1,000

13/ 1,000

76%

化가 가 , 金融商品價格 透明性, 目
 的適合性 가 公示制度
 擴大¹⁵⁾가 事業費 構造 改善

事業費 體系

가가 適切 事業費 改善對策
 效用 支出 費用

購買

가 金融環境 事業
 費 體系 效率的 調整 過多 事業費 附加 販賣體系 整備
 販賣 導入¹⁶⁾ 經營效率化 政策 止揚 가

15) (illustration) (NAIC)

Life Insurance Illustration Model Regulation 1997 12 51 31

, 가 , 가

(illustration actuary) (Actuarial Standard of Practice No. 24)

16) K 가

가 10/1,000 ,

70%

先執行

3

豫定 事業費

100%

2

< -7>

78%가

比例手當

將來

確保

가

支給

<

>

(: , %)

K	K	834	834 (100.0)	399 (47.8)	201 (24.1)	28 (3.4)
A	A	4,216	4,215 (100.0)	2,877 (68.3)	700 (16.6)	62 (1.5)
B	B	1,882	1,882 (100.0)	1,076 (57.2)	292 (15.5)	83 (4.4)

: 1.

2

2. ()

3. '97.4.1 '97. 9.30

< -7> 實際 新契約費 支出形態

(: , %)

	(A)		(B)		(C)
		A/C		B/C	
	27,380	79.6	7,000	20.4	34,380
	3,644	70.7	1,509	29.3	5,153
	1,879	71.6	744	28.4	2,623
	2,179	71.6	863	28.4	3,042
	272	77.5	79	22.5	351
	35,354	77.6	10,196	22.4	45,550

: FY'96

却 早期 確保 全額 償
 가 早期 解約 還收措置
 가 否定的 影響
 가 綜合金融化 時代
 事業費 效率的 策定 配分
 消費者 利益 圖謀

4. 財務健全性 提高

가. 現況

豫定事業費 財務健全性 關係
 豫定事業費 準備金 積立

	配當金	
豫定事業費		新契約費 部分
	が	
準備金評価方式 ¹⁷⁾		保険料積立金
純保険料式準備金		7

17)

3-68 ()

1. , 7

2.

$${}_{t+1/12}V = {}_tV + \frac{1}{12} \cdot ({}_{t+1}V - {}_tV)$$

, :

${}_tV$:

3.

96

1

$${}_tV = K \cdot {}_tV^{(N)} + (1 - K) \cdot {}_tV^{(W)}$$

$$, K = \frac{({}_tV - {}_tV^{(W)})}{({}_tV^{(N)} - {}_tV^{(W)})}$$

${}_tV$: ${}_tV^{(W)}$:

K : ${}_tV^{(N)}$:

4.

解約還給金式準備金 積立¹⁸⁾ .

< -8> 3 , 2

混合比例積立方式(K式) , 28 가

. , K

. 同一

, K

減少函數 가 .

< -8> 會社別 準備金 積立現況

	, ,
K	(14.8%), (5%)
	K 5 ,
	28

: () K .

. 問題點

18)

$${}_tV^{(w)} = {}_tV^{(N)} - \frac{m-t}{m}$$

: m : t:

, 7 m 7 , 7

(m) .

新契約費 增大 支

給能力 不安 加重

가

解約還給金式

가

19). < -9>

2 3

가

W1t 가 3,139 ,

W2t 2,996 ,

W3t 2,924

保險料積立金 增加

額 比例

< -9> 新契約費

保險料積立金 變化

(: 가 10 , 35 , , 20)

	1	2	3	4	5	6	7
Vt	2,364	4,894	7,604	10,505	13,614	16,943	20,508
W1t	0	2,751	5,890	9,220	12,576	16,514	20,508
W2t	650	3,465	6,461	9,648	13,042	16,657	20,508
W3t	1,078	3,823	6,747	9,863	13,185	16,728	20,508

: 1.

2. Vt :

W1t : 30/1,000

W2t : 20/1,000

W3t : 15/1,000

利差配當, 金利差保障

19) . , 『生命保險 價格自由化 方案』, 保險開發院, 1997. 3, pp. 57-58

. 經營利益 利源別
 가 (< -10>). 가 가
 , 貢獻度 가
 配當率²⁰⁾
 配當金 .
 가 3 .
 生命保險 價格自由化 段階上 1998
 .
 慎重 檢討가 解約
 還給金 基準 保險料 算出 無關
 .
 가 配當率
 差別化 政策 가 情報公示가
 發生因子(
) 配當率 ()
)가 絶對額 가 .
 가 昏亂 誤解
 .
 20) 가 가

가

< -10> 新契約費

配當金 推移 分析

(: 가 10 , 35 , , 55)

	1	2	3	4	5	6	7
Vt	2,699	5,592	8,691	12,013	15,575	19,393	23,486
W 1t	128	3,449	6,977	10,728	14,718	18,964	23,486
D1	0 (0)	3 (3)	69 (72)	140 (219)	215 (455)	294 (792)	379 (1,246)
W 2t	1,413	4,521	7,834	11,371	15,146	19,179	23,486
D2	0 (0)	28 (28)	90 (121)	157 (289)	227 (543)	303 (898)	384 (1,367)
D2- D1	0 (0)	25 (25)	21 (49)	17 (70)	12 (88)	9 (106)	5 (121)

: 1. 9.5%(가)

2. W 1t : 30/1,000

W 2t : 15/1,000

3. D 1, D 2 , ()

準備金積立 充分性 側

面

死亡保險金 支給

財源

豫定新契約費

死亡保險金 支給

財源 不足額 가

< -1>

t 가

S , , 順

危險保險金額(net amount at risk) S-Vt , 가

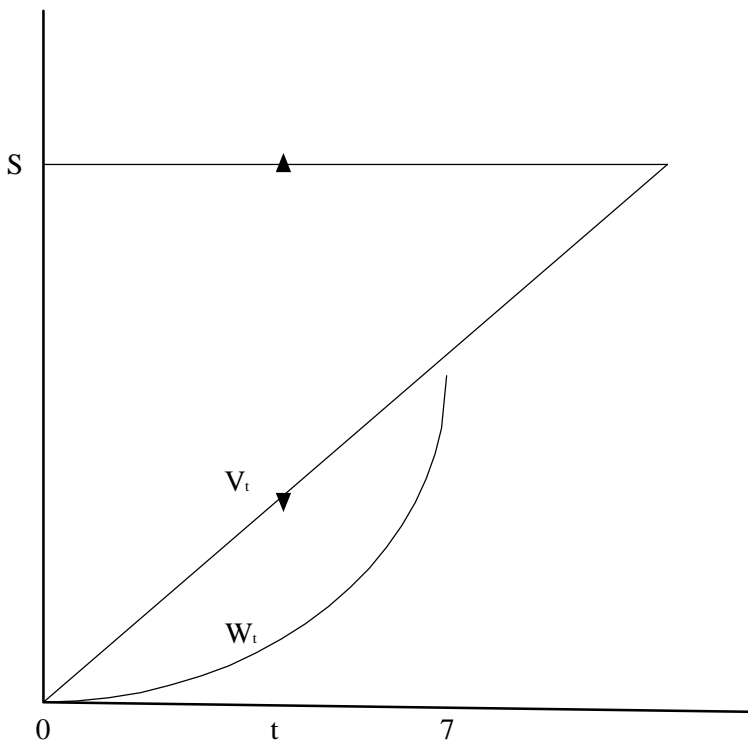
Wt , Vt - Wt

脫退
 ,
 - W_t 資本金 剩餘金 V_t
 . $V_t - W_t$

財務健全性

가 .

< -1> 死亡保險金 財源分析



改善方案

가 가 豫定事業費
 事業費 策定 自由化 ,
 가 .

豫定事業費 適正 水準 準備金 가 가
 經過期間
 別 一定率 標準準備金 ,
 採擇 準備金 計算 新契約費 ,

約 維持率 事業費 策定 制 가

金融環境 高金利 狀況
 下向安定 ,
 金利選好意識

가 準備金 充當 財務危險 가 .

가 脫皮 , 原理
 準備金 積立方法 改善
 가 竝行 標準責任準備金 評價

制度 自律 , 가
 規制 .
 全體 事業費
 轉換
 支給餘力 不足狀況
 加重 , 가
 가
 가 策定 가 .
 < -11> 地方社
 費差益 ,
 7.4%가 示顯 .
 10% ,
 準備金 充實化 . 2
 31
 費目間 均衡 .

< -11> FY'96 會社 別 新契約費 現況

(: , %)

	37,897	5,512	2,377	3,045	351	49,182
	34,380	5,153	2,622	3,042	351	45,550
	3,517	359	- 245	3	0	3,632
	(9.3)	(6.5)	(- 10.3)	(0.1)	(0.0)	(7.4)

積立裝置가 . 死亡保險金 構成要素 補填 純危險保險金 別途
 式準備金 , 未償却新契約費 純保險料
 積立 健實化 財源 . 準備金
 가 , 別途 餘力制度 不實化 防止

5. 改善效果

豫定事業費
 가 . 事
 業費 自由化, 事業費 附加 構造改善, 維持率 提高, 財務健全性 提高
 가 側面 .
 事業費 自由化 效果 가
 , 規模 經濟效果 經營 效率性 價格差別化 가
 . 事業費 策定 柔軟性
 가 가 . 否定的
 側面 價格競爭 深化 費差損 擴大
 消費者 保護次元 財務健全性 가 .
 事業費 附加 構造改善 側面
 가 公平性

性別, 年齡別, 保險期間別 가
 戰略的 差別化 ,
 未償却 新契約費 一部 가 負擔 募集人 手當
 支給期間 延長 維持率 提高 가
 費差損 擴大 가 事業費
 安定的 確保 安定的 資金流入 資産
 運用收益率 民怨
 間接規制 年次別 準備金 增加額 負擔緩和
 財務健全性
 , 競爭 激化 自生力
 가 ,
 現在 事業費 運營上 慣行 制度
 , 向後 價格自由화가 保
 險商品 價格競爭力 確保 方案
 原價構造 價格 策定
 豫測 商品開發 必須的

가 . 原價構造

가

原價 正確 認識 美國 가
 算定 努力 研究가
 保險原價計算 合理的 豫定事業費 策定 損益計
 算 가 戰略種目 退出種目 事業費 統制
 明確 . 原價會計次元 障
 研究報告書 障 機能別 原價體系(functional cost system)

21) LOMA (Life Office Management Association) 1954 EMaP(Expense Management Program) 75 가 LOMA 가 LOMA Gregory P. Storey(Expense Management : Industry Trends, *Resource*, 1997 Jan., pp. 36 41, 1997 Feb., pp. 43 46, 1997 Mar., pp. 80 83) EMaP